# 平成30年度
# 専門学科インターンシップについて
# 山形新聞で紹介されました

平成30年度　専門学科インターンシップが、10月17日（水）から19日（金）までの3日間行われました。本校では、第2学年次で、普通科の就職希望生徒が、山形商工会議所が主催する「ジュニア・インターンシップ」に臨み、食料生産科と情報経営科の生徒全員が本校の教育計画に基づく「専門学科インターンシップに」臨みます。

2018年（平成30年）10月28日（日曜日）　地域　山形新聞

## 明新館高生 先生役に挑戦

### インターン経て、南小で租税教室

上山

上山明新館高の2年生3人が講師となって教える租税教室が先ごろ、上山市南小で開かれた。生徒たちは3日間にわたる税務署でのインターンシップ（職業体験）の成果を生かし、児童に税について分かりやすく紹介した。

“先生”を務めたのは、情報経営科2年の大山実紗さん(16)、河南凪砂さん(17)、上野春奈さん(16)の3人。山形税務署で仕事や税の種類などを学ぶインターンシップに17～19日に取り組み、所得税申告書作製や模擬調査、路線価の評価事務も体験した。租税教室は、生徒に成果を披露する機会をつくろうと同税務署が企画した。

教室は19日に開き、生徒3人は6年生約60人を相手に、税金の種類やどんな施設に使われているかを、クイズも交え説明。児童は学校や橋、除雪車など身近なところに税金が使われていることを学んだ。

佐藤徹平君(12)は「最初はいらないと思っていた税金は、自分たちのために必要と分かった」、鍵水理央さん(12)は「税金で生活がより良くなっていることを高校生から詳しく教えてもらった」と話した。先生役を果たした3人は「緊張したけど、小学生が積極的に発言してくれて楽しくできた。クイズなども用意して分かりやすく伝えることができたと思う」と笑顔で語った。

小学生に税金の役割などを説明する上山明新館高の2年生3人＝上山市南小

## 経験が育ててくれる

### 大人の味

高畠

食農教育高畠町二井宿樹校長、36人）で27日、事「収穫感謝祭」が開児童が手塩にかけて育を、日頃の感謝の気持域住民に販売した＝写

同校は学年ごとに担を決めサツマイモやダもち米などを学校近く培。住民が先生役を務作りの看板を掲げ、「るかもよ」などと歌やにPR。25分ほどで完もち米を販売した5

感謝祭は同校玄関前物が10種類ほど並び、ら大勢の客が詰め掛け取りや水やりなどの管た。

市芸術祭の一環で、新庄茶道連盟の田宮宗知社中と

しかった」とほっとした表情を見せていた。